

世界の政治、日本の政治

学習院大学教授、東京大学名誉教授

佐々木

たけし

- *議会制、大統領制、折衷型で三二分
- *ハイブリッド制度は20世紀の発明
- *Semi-Presidentialに二様
- *議会制の中にもさまざまな幅
- *日程を決めないことが政治家の仕事？
- *政党は社会構造の一つの表れ
- *世界流行の「個人中心型政党」
- *ガラパゴス化している日本の政治
- *受け身的に感じる安心という言葉
- *民主政と市場性にある緊張関係



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

どの講師にお願いするか、年明け一回目の講演会も悩みますけれども、二回目の講演会は幸いなことにここ何年か、佐々木先生にお願いして快諾をいただけているので、年頭にいつもすばらしい講演を聞くことができます。

たまたま去年秋、イタリアに行っておられます。イタリアと日本の政治を比較するというのは本当にダメな同士を比較するような感じでしょうかと気になるところもありますが、（笑）しかし学ぶこともいろいろあるということで、今日はその話もしていただけたと思います。

政党基盤の液状化といえますか、政治がひどい状態になっているのは世界的なことかと思いますが、日本は特にひどくて、これが企業だっ

たらとづくに倒産している程度のマネジメントしかしていないわけです。そういうところは、ずつと政治改革で頑張つてこられた佐々木さんからするといささか腹が立つ話だと思いますが、今日は私も少し腹を立てながらお聞きしようと思えます。

それから、先生のユーモアもぜひ堪能していただきたいですね。よく聞かないとわからないようなユーモアですから、（笑）そのところも楽しくお聞きしたい。それでは佐々木さん、よろしくお聞きします。（拍手）

佐々木 ご紹介賜りました佐々木でございませう。本日はお招きをいただきましてありがとうございます。ございました。

お手元に資料を用意させていただいておりま